

20P

織田信長「天下布武」

楽市楽座→安土城下

鉄砲の活用→戦術兵器として

種子島

→根来寺、坊津、平戸、豊後、堺、薩摩、国友、長浜、椎賀の鉄砲鍛冶から購入
キリスト教布教を公認

石山本願寺 浅井、朝倉、毛利、足利義昭らと手を組み信長を攻撃

→宗教活動を装いながら戦国大名と同じ活動をしているじゃないか!!

豊臣秀吉

出身身分が農民

→政権の後ろ盾として、天皇の権威を借りる

→関白、太政大臣

1587年

バテレン追放令

惣無事令

1588年

後陽成天皇聚楽第へ

刀狩令

政治組織

五大老、五奉行

豊臣政権の財政

太閤検地

度量衡の統一

上、中、下、下下田

貫高→石高(天正の石直し)

一地一作人の原則→荘園制度の廃止

検地帳への記入

→兵農分離、身分固定

海外進出

台湾、朝鮮、ゴア、マカオに入貢を求める

→朝鮮の拒否、朝鮮出兵へ

文禄の役における軍勢

総兵力 15万 8700人

→大名・豊臣政権の疲弊

2 1 P

徳川家康

豊臣氏 大坂城

1614 年

大坂の陣→方広寺の鐘の鐘銘を使って難癖をつける

江戸幕府の職制

大老 臨時職

老中

側用人

若年寄

2 2 P

江戸幕府の経済基盤

幕藩体制

中央 幕府→将軍→700 万石(旗本領含む)

地方 藩→大名→おおむね 10 万石前後

資料 1 9 の 1～4

大名統制→武家諸法度

1615 年 元和の武家諸法度

1635 年 寛永の武家諸法度

参勤交代を定める、500 石(おおよそ 75 トン?)以上の船の建造禁止

朝廷・公家の統制→禁中並公家諸法度

天皇は学問をしていなさい→政治に口出さな

寺院の統制→諸宗寺院法度

2 2 P

朝廷及び寺院に対する統制

2 3 P

江戸時代の社会組織

士 7～8%

農 84～85% 身分は上だが生活レベルは低い 五人組制度

工・商 5～6%

えた・非人

資料 2 0 の 1 と 2

「幕政担当者の農民観」

「慶安の触書」

最近、真偽のほどがはっきりしない

→某藩が定めたものが、評判がよく、全国に流布した？

2 2 P

農民に対する統制

本百姓、水呑百姓

2 3 P

江戸幕府の外交関係

朱印船貿易

朱印状+老中奉書

1600年オランダ船リーフデ号豊後臼杵に漂着

幕府初期の段階では、

オランダ、イギリス、イスパニア、ポルトガルとの関係があった

日本から東南アジアに多くの日本人が出かけていった

日本町

キリスト教の新旧の争い

オランダ、中国、朝鮮のみ貿易を継続する

幕府のねらい

貿易の独占

海外情報の独占

キリスト教対策

資料 2 1 の 1 ~ 3

「寛永 10 年の禁令」

「寛永 16 年の禁令」

ケンペル(ドイツ人医師)

「日本誌」→鎖国の様子

1801年 志築忠雄が訳す→「鎖国」用語の始まり

1637年 天草・島原の乱(一揆)

中心 天草四郎時貞(益田時貞)→キリシタン

幕府 松平信綱は 12 万の軍勢に動員をかける

オランダ風説書

オランダ商館長が幕府に提出する

24 P

「鎖国時代の対外関係と貿易」

朝鮮 宋氏を介在して

琉球 島津氏を介在して

蝦夷地 松前氏を介在して

中国、オランダ 幕府が直轄

25 P

山丹交易

アイヌーカラフトー沿海州の民族

19 C 幕府直轄

25 P

江戸時代の農具の発達

農学の発達

26 P

江戸時代の主要な作物とその用途

四木 三草 五穀 が農業生産の中心

商品作物→特産物

肥料→いわし(魚粉)

27 P

人口の推移

三都

江戸 幕府ー当時人口世界一？

京都 朝廷

大坂 商業の中心地ー天下の台所

28 P

商品の流通機構と株仲間

全国各地→大坂→江戸

大坂 二十四組問屋

江戸 十組問屋

株仲間 運上金、冥加金を納め公認、商品流通の一切を独占

幕政の変化

家康ー家光

武断政治 改易、減封

→牢人・浪人の発生

→社会不安の増大

文治政治への転換

学問や儒教を軸に行っていく

家綱一

三大改革

財政改革、再建

貨幣鑄造

金貨、銀貨→直轄鉱山の上がりが増えてきた

年貢→換金(貨幣経済)

貨幣改鑄→出目→インフレ!!

資料 2 1 の 1

「生類憐みの令」

2 8 P

正徳の治

新井白石

資料 2 2 の 2、3

「海舶互市新例」

「大名の財政難」

→貨幣経済に組み込まれていく

三代改革

享保の改革

8代吉宗

復古主義、将軍新政、武断政治への復帰

財政再建には、一定の効果があった

享保の大飢饉などによる農村の疲弊

→社会不安増大

資料 2 2 の 1

「上米の制」 1%分

資料 2 3 の 2、3

「足高の制」 職務手当みたいなもの

「公事御定書」 刑法

漢訳洋書の輸入を許可

西洋の自然科学など○

キリスト教×

ドイツ、オランダ→中国→長崎→各地

→直接、オランダ語で学べば？→蘭学

28P

封建社会の動揺

29P

寛政の改革

11代家斉 老中松平定信

復古主義、農業重視、財政再建

人足寄場

資料24の1～3

「困米の制」 0.5%分の備蓄

「棄えん令」 公定歩合の設定、徳政令

「寛政異学の禁」 朱子学

資料28の4

「林子平の海防論」 幕政批判と捉える

農民の困窮と飢饉

百姓一揆の形態

→社会改革に通じるものも

30P

天保の改革

12代家慶 老中水野忠邦

復古主義、農村復興や財政再建、風俗の矯正

資料26の1～3

「株仲間の解散令」 物価安定をはかる→経済混乱

「人返しの法」 江戸に流入した農民の強制帰村

「上知令」 幕府財政の安定をはかる→当該大名、旗本の反対

資料25の1、3

「異国船打払令」

「天保の薪水給与令」

30P

幕政改革関係年表

31P

藩政改革と諸藩のおもな専売品

財政再建 西南雄藩を中心に成功

→幕末の政局に影響をあたえる

33P

開国をめぐる政治動向